令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者医療体制の整備			款 04	項 01	目 03	事業 068	整理番号	200
現担当課名	障害者施策課	係名	管理係			連絡先電話番号	1104	昨年度整理番号	191
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分	既定事業	
事業開始	令和6年度	実行計画事業	分野 04	施策 13	計画事業 05				
令和7年度担当課名	障害者施策課						事業評価区分	一般	

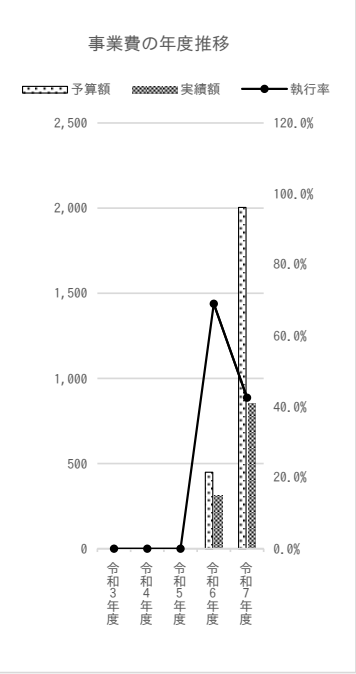
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
障害者の高齢化及び障害の重症化を背景として小児から成人に診療科が切り替わる障害者、重症心身障害児者及び医療的ケアが必要な障害児（者）	児童福祉法 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○障害者の高齢化及び障害の重症化が進む中、小児から成人に切り替わる時期における円滑な診療科移行及び医療的ケアが必要な障害児（者）の医療体制整備を図ることをめざす。	○重症心身障害児（者）及び医療的ケア児（者）に対応可能な医療体制を整備する。 ○移行期医療に係る在宅療養、受入医療機関の確保等に関すること。 ○その他障害児（者）の地域医療の体制を整備する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	障害者医療をテーマとした講演会の開催		回	計画	－	1	1	－
				実績	－	1	1	－
				達成率	－	100.0%	100.0%	－
				計画	－	－	－	－
				実績	－	－	－	－
				達成率	－	－	－	－
成果指標	区内で重症心身害児者、医療的ケア児者の訪問診療が可能な医療機関数	「在宅療養ブック」で掲載している障害児（者）を診療する医療機関数	所	計画	－	18	20	20
				実績	－	18	18	－
				達成率	－	100.0%	90.0%	－
	分類 社会成果（課題）指標							
				計画	－	－	－	－
				実績	－	－	－	－
				達成率	－	－	－	－
	分類							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	－	－	－	449	2,004	1,873
			実績額	－	－	－	310	853	－
			執行率	－	－	－	69.0%	42.6%	－
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	－	－	－	－	0	2,225
			実績額	－	－	－	0	3,115	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	上記以外の職員		予算額	－	－	－	－	0	0
			実績額	－	－	－	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	－	－	－	449	2,004	4,098
			実績額	－	－	－	310	3,968	－
			執行率	－	－	－	69.0%	198.0%	－
財源	受益者負担分①	千円	予算額	－	－	－	－	0	0
			実績額	－	－	－	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	国・都からの補助金②	千円	予算額	－	－	－	－	0	1,873
			実績額	－	－	－	0	843	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	その他の補助金等③	千円	予算額	－	－	－	－	0	0
			実績額	－	－	－	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	－	－	－	－	0	1,873
			実績額	－	－	－	0	843	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	－	－	－	449	2,004	2,225
			実績額	－	－	－	310	3,125	－
			執行率	－	－	－	69.0%	155.9%	－



特記事項

医療型短期入所補助回数減による補助額の残による

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	200

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	障害者医療体制整備検討会の開催	1	回	187
	移行期医療に関する普及啓発研修の開催	1	回	113
	運営費等補助	26	日	530
	その他（　通信運搬費ほか　）			23
取組成果	障害者医療体制の充実を図るため、特に障害者の移行期医療の推進について、区と医師会で検討会を開催しました。レスパイト入院を入口とした受入れ拡大や相談体制の整備の必要性を議論しました。 当事者・保護者や医療機関が参加した移行期医療座談会では、立場の違う参加者同士が意見を交換し理解を深めるとともに、相談支援の強化などの課題を話し合いました。 令和7年度から区内医療機関で医療型短期入所が開設され、１８歳以上の在宅人工呼吸器使用者等の家族のレスパイト目的の受入れが始まり、年間26日、3名が利用しました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	小児期から成人期への移行にあたり、特に重症心身障害者の受入可能な医療機関や診療体制の充実が課題であり、当事者・家族、医療機関双方において情報不足や不安があることが座談会の開催を通して明らかになりました。医療機関との検討会では、レスパイト入院を入口とした取組や実務的な連携体制（情報共有や役割分担の仕組み）を継続し検討していく必要性が議論されました。 在宅生活を送っている重症心身障害児（者）や医療的ケア児（者）の短期入所（またはレスパイト入院）については、利用者の増加や既存の療育センター等での施設の受入れが縮小していたことから、令和7年度から開始した区内医療機関での短期入所は家族の不安解消につながりました。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	障害者医療体制整備事業においては、重症心身障害児者及び医療的ケア児を対象としたレスパイト入院の利用が開始され、制度の周知と理解促進が図られました。その結果、レスパイト入院の利用者が徐々に拡大するとともに、新たに受入れを申し出る医療機関も増加し、地域における受入体制の充実につながりました。また、当事者と医療関係者等との意見交換を継続的に実施し、相互理解の促進と連携強化を図ることができました。
事業の方向性・改善策	医療的ケア児支援法の改正動向を踏まえ、医療的ケア児や重症心身障害児者及びその家族が必要な支援につながることができるよう、関係機関と連携した相談体制の充実を図ります。また、レスパイト入院制度の周知や利用相談を強化し、利用促進に取り組みます。さらに、地域の医療機関との連携を一層推進し、受入体制の拡充を図るとともに、在宅療養を支える支援体制の充実に向けた取組を進めます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	レスパイト入院の利用者増加や支援ニーズの多様化に対応するとともに、医療的ケア児支援法の改正を踏まえた相談支援体制の充実、受入医療機関の拡充及び在宅療養支援の強化を進める必要があるため、事業コストを拡充します。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	医療的ケア児支援法の改正により、支援対象年齢の拡大や小児期から成人期への移行期医療に関する取組の強化が求められています。このため、従来の事業内容や実施方法を見直し、関係機関との連携体制を強化するとともに、医療的ケア児者及びその家族が必要な支援につながることができる相談体制の充実を図ります。また、地域の実情や利用者ニーズを踏まえ、より効果的・効率的な支援体制の構築に取り組みます。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	救命救急体制の充実				款	04	項	05	目	01	事業	009	整理番号	303
現担当課名	健康推進課			係名	医療連携担当				連絡先電話番号	内線4528			昨年度整理番号	295
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成16年度	実行計画事業		分野	04	施策	13	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和7年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般				

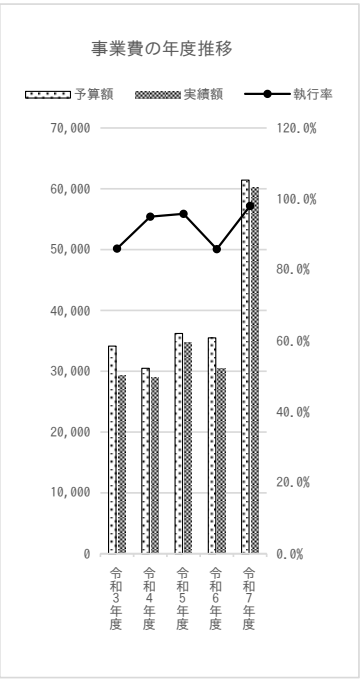
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
○区民 ○16歳以上の区民（救急協力員）	杉並区急病医療情報センター運営要綱 地域における初期救急対応力整備要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○区民の急病時の不安解消を目指して、24時間365日病院探しに困らない体制を整える。 ○緊急時に応急手当ができる区民の養成やＡＥＤの配置により、初期救急対応力の向上を図る。 ○医療機関への相談・苦情に応じることにより、区民が安心して医療を受けられる環境を整える。	○専門の保健師・看護師が医療機関の案内・相談を365日行う杉並区急病医療情報センターを運営し、委託により実施する。 ○迅速・正確に応急手当を行える区民（救急協力員）を養成する。 ○救命講習会を実施する。 ○ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の設置・維持管理を行う。 ○医療に関する相談・苦情対応を行う杉並区医療安全相談窓口を運営する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	急病医療情報センターの利用件数	急病医療情報センターの入電件数	件	計画	12,000	12,000	12,000	12,000
				実績	9,574	8,985	7,175	-
				達成率	79.8%	74.9%	59.8%	-
	救命講習受講者数	応急手当普及のために区が行った救命講習受講者数	人	計画	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績	2,295	1,993	2,252	-
				達成率	76.5%	66.4%	75.1%	-
成果指標	救急医療体制に安心感を持つ区民の割合	区民意向調査による	%	計画	74	75	76	77
				実績	71.3	68.6	71	-
				達成率	96.4%	91.5%	93.4%	-
	分類　区民満足度指標							
	救急協力員（すぎなみ区民レスキュー）登録者数	救急協力員（すぎなみ区民レスキュー）累計登録者数	人	計画	5,500	6,000	6,500	7,000
				実績	5,718	6,305	6,916	-
				達成率	104.0%	105.1%	106.4%	-
	分類　行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	34,133	30,483	36,209	35,489	61,427	62,390
			実績額	29,354	28,959	34,688	30,464	60,213	-
			執行率	86.0%	95.0%	95.8%	85.8%	98.0%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	3,401	3,337	3,327	3,348	3,422	3,560
			実績額	4,922	4,242	4,018	3,594	3,738	-
			執行率	144.7%	127.1%	120.8%	107.3%	109.2%	-
	上記以外の職員		予算額	7,256	8,820	9,563	9,898	12,072	12,756
			実績額	7,350	9,563	9,898	12,072	12,756	-
			執行率	101.3%	108.4%	103.5%	122.0%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	44,790	42,640	49,099	48,735	76,921	78,706
			実績額	41,626	42,764	48,604	46,130	76,707	-
			執行率	92.9%	100.3%	99.0%	94.7%	99.7%	-
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	44,790	42,640	49,099	48,735	76,921	78,706
			実績額	41,626	42,764	48,604	46,130	76,707	-
			執行率	92.9%	100.3%	99.0%	94.7%	99.7%	-



特記事項

令和6年度より令和7年度の事業費が増加している理由は、小児救急医療体制の維持・確保のため、令和7年度より区内にある東京都指定二次救急医療機関（小児科）に対し、日中・夜間の救急診療及び地域の医療機関からの紹介受診に専門的に対応するために必要な医師の確保を目的とした補助金を開始したためです。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	303

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	急病医療情報センター運営	1	か所	18,832
	ＡＥＤの賃借			9,586
	救命講習テキスト等購入			939
	小児二次救急医療機関医師確保支援事業			30,000
	その他（　謝礼金支払、消耗品購入等　）			856
取組成果	休日・夜間の急病相談を受け付ける杉並区急病医療情報センターにおいて、7,175件の相談に対応しました。また、杉並区医療安全相談窓口では532件の相談を受け、うちアドバイスやコメントで対応を終えた件数は72件、意見・要望を医療機関に伝えた件数は11件など、急病など緊急時の区民の不安解消や安心して医療を受けられる環境を整えました。 区民等の応急手当の知識と技術の取得を図るため、救命講習会を127回実施し、2,252人が受講しました。また、救命講習会の実施により、新たに611人が救急協力員となり、累計6,916人となりました。これにより、区民等の初期救急対応力の向上につなげることができました。さらに、不特定多数の区民が集まる公共施設等において、令和7年度は新たに4台のＡＥＤを設置し、合計390台となり、初期救急体制の充実を推進しました。 令和7年度から東京都指定二次救急医療機関（小児科）である杏林大学医学部付属杉並病院を小児基幹病院と位置づけ、支援を開始することにより、小児救急医療体制を安定的に確保することができました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	杉並区急病医療情報センターは、休日、夜間に専門の保健師・看護師が医療機関の案内や、急病対応の説明、小児急病相談を行っており、利用件数は令和6年度より減少したものの、区民の安心感に大きく寄与しています。引き続き運営を継続しつつ、利用件数の推移や東京都及び東京消防庁が実施している類似サービスとの役割分担等を随時確認しながら、効率的な運営を検討していく必要があります。 医療安全相談窓口については、看護師等専門職の人材確保が課題となっており、他自治体は当窓口について民間事業者に委託している状況等を踏まえ、相談窓口の在り方について検討していく必要があります。 地域における初期救急対応力については、引き続きＡＥＤの適切な維持管理等を継続し、初期救急の体制整備を図っていく必要があります。また、夜間に使用できるＡＥＤが少ないことからＡＥＤのコンビニ設置等の検討をしていく必要があります。 区内にある東京都指定二次救急医療機関（小児科）に対し、日中・夜間の救急診療、及び地域の医療機関からの紹介受診に専門的に対応するために必要な医師の確保を目的とした補助を引き続き行い、小児救急医療体制を維持・確保していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	杉並区急病医療情報センターへの急病相談件数や杉並区医療安全相談窓口への相談件数は令和7年度より減少傾向であるものの、区民の急病時の不安を解消し、安心して医療を受けられる環境を維持しています。 ＡＥＤの操作方法・応急手当技法を学ぶ救命講習については、回数及び受講者数ともに令和7年度と同規模の実施を予定しており、ＡＥＤの維持管理と併せて、地域における初期救急対応力の向上を図っています。 区内にある東京都指定二次救急医療機関（小児科）に対し、日中・夜間の救急診療、及び地域の医療機関からの紹介受診に専門的に対応するために必要な医師の確保を目的とした補助を実施し、小児救急医療体制の維持・確保に努めています。
事業の方向性・改善策	杉並区急病医療情報センターについては相談ニーズや相談件数の推移を踏まえつつ、都及び東京消防庁が行う類似サービスとの役割分担を随時確認し、杉並区急病医療情報センターのサービス内容の見直しを進めていきます。 また、杉並区医療安全相談窓口については、引き続き医療機関に関する相談・苦情に応じるとともに、専門性を活かした相談体制の維持と区民の利便性向上を図るため、委託化を検討していきます。 救命講習については、令和7年度と同程度の回数や人数で開催し、区民等の応急手当の知識と技術の普及・啓発を図るとともに、令和9年度以降、救命講習を教える資格である応急手当普及員の養成やＡＥＤのコンビニ設置等を検討していきます。 区内にある東京都指定二次救急医療機関（小児科）に対する補助については、引き続き継続し、小児救急医療体制の状況を把握していきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	杉並区急病医療情報センターの運営により、区民の急病時の不安解消や安心して医療を受けられる環境整備が求められています。 杉並区医療安全相談窓口の運営については、専門性を活かした相談体制の維持と区民の利便性向上を図るため委託化を目指すことに伴い、委託費が増加する見込みです。 また、応急手当技法を学ぶ救命講習の継続的な実施とＡＥＤ設置は、救急車を要請してから実際に到着するまでの間、どれだけ応急手当を行えるかが傷病者の生命を大きく左右するため、初期救急対応力の向上に欠かせません。今後の予算についても同規模を維持していきます。 区内にある東京都指定二次救急医療機関（小児科）に対する補助についても、引き続き継続していきます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	杉並区医療安全相談窓口の運営については、相談窓口の委託化を推進します。 ＡＥＤについては夜間に使用できるＡＥＤが少ないことから、コンビニ設置等の検討を進めます。 また、救命講習については、救命講習の指導を担う応急手当普及員の講習実施に向けて検討していきます。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	急病診療事業の運営				款	04	項	05	目	01	事業	010	整理番号	304
現担当課名	健康推進課			係名	医療連携担当				連絡先電話番号	内線4528			昨年度整理番号	296
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和53年度	実行計画事業		分野	04	施策	13	計画事業	01					
令和7年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般				

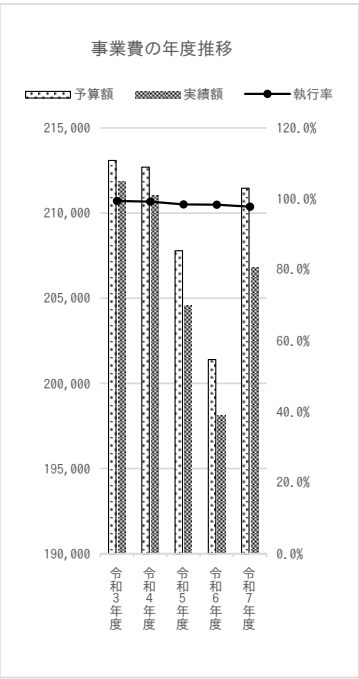
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
○区民	杉並区休日等夜間急病診療事業実施要綱 杉並区歯科保健医療センター事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○区民の急病時の不安解消を目指し、一般の医療機関での受診が困難となる夜間・休日等の時間帯においても安心して医療を受けられる体制を整える。	○杉並区休日等夜間急病診療所及び休日当番医を設置し、委託により実施する。 ○杉並区歯科休日急病診療事業を委託により実施する。 ○杉並区休日等夜間調剤薬局及び休日当番薬局を設置し、委託により実施する。 ○小児急病診療協力医療機関（東京衛生アドベンチスト病院）への委託により、小児急病診療事業を実施する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	急病診療所（医科・歯科）及び薬局の利用者数	休日等急病診療事業（医科：固定・輪番、歯科：固定、薬局：固定・輪番）の利用者数	人	計画	23,000	23,000	23,000	23,000
				実績	22,223	22,168	21,896	-
				達成率	96.6%	96.4%	95.2%	-
	小児急病診療協力医療機関（東京衛生アドベンチスト病院）受診者数	小児急病診療事業の委託先医療機関の受診者数（東京衛生アドベンチスト病院）	人	計画	2,200	1,000	1,000	1,000
				実績	1,423	617	618	-
				達成率	64.7%	61.7%	61.8%	-
成果指標	救急医療体制に安心感を持つ区民の割合	区民意向調査による	%	計画	74	75	76	77
				実績	71.3	68.6	71	-
				達成率	96.4%	91.5%	93.4%	-
	分類 区民満足度指標							
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-
	分類							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	213,092	212,699	207,790	201,400	211,461	215,112
			実績額	211,876	211,060	204,580	198,112	206,829	-
			執行率	99.4%	99.2%	98.5%	98.4%	97.8%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	10,204	5,423	5,823	5,860	5,561	5,785
			実績額	6,674	7,153	6,781	5,818	6,052	-
			執行率	65.4%	131.9%	116.5%	99.3%	108.8%	-
	上記以外の職員		予算額	1,814	1,103	736	761	929	981
			実績額	1,838	736	761	929	981	-
			執行率	101.3%	66.7%	103.4%	122.1%	105.6%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	225,110	219,225	214,349	208,021	217,951	221,878
			実績額	220,388	218,949	212,122	204,859	213,862	-
			執行率	97.9%	99.9%	99.0%	98.5%	98.1%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金 ②	千円	予算額	5,108	5,109	5,109	5,111	6,221	6,305
			実績額	4,965	5,017	5,109	5,111	5,875	-
			執行率	97.2%	98.2%	100.0%	100.0%	94.4%	-
	その他の補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	5,108	5,109	5,109	5,111	6,221	6,305
			実績額	4,965	5,017	5,109	5,111	5,875	-
			執行率	97.2%	98.2%	100.0%	100.0%	94.4%	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	220,002	214,116	209,240	202,910	211,730	215,573
			実績額	215,423	213,932	207,013	199,748	207,987	-
			執行率	97.9%	99.9%	98.9%	98.4%	98.2%	-



特記事項

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	304

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	休日等夜間急病診療事業委託	1	件	142,633
	歯科休日急病診療事業委託	1	件	24,366
	小児急病診療体制の確保に関する委託	1	件	12,584
	休日等夜間調剤事業委託	1	件	25,224
	その他（　パンフレット購入、保険料ほか　）			2,022
取組成果	区民の急病診療体制を支えるため、杉並区休日等夜間急病診療所受診者数5,808人、当番医受診者数9,145人、杉並区歯科休日急病診療受診者数516人、杉並区休日等夜間調剤薬局処方件数5,378件、輪番薬局処方件数1,049件の診療等を行い、受診が困難となる夜間等においても安心して医療を受けられる体制を確保しました。また、小児の急病診療を確保するため東京衛生アドベンチスト病院において618人が受診するなど急病時の不安の解消を図るとともに医療体制を確保しました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	急病診療等の医療体制確保については、休診する医療機関が多い平日夜間や休日等に急病診療を行うことにより、区民の救急医療に対する安心感に寄与しています。受診者数は令和6年度と同程度に推移しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前を上回っています。 小児急病診療については、杉並区休日等夜間急病診療所や小児急病診療協力医療機関等において急病診療を実施することにより、子どもを抱える世帯の医療面での不安解消につながっているため、今後も同規模の事業を展開することが求められます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	杉並区休日等夜間急病診療所と杉並区休日等夜間調剤薬局、小児急病診療協力医療機関（東京衛生アドベンチスト病院）の利用件数については、令和7年度より減少していますが、令和5年度と比較すると全体では増加しており、区民の救急医療に対する安心感に寄与しています。
事業の方向性・改善策	休診する医療機関が多い平日夜間や休日等に行う急病診療は、区民の救急医療体制に対する安心感につながっており、特に小児急病診療については、杉並区休日等夜間急病診療所や小児急病診療協力医療機関等において、子育て世帯を医療面から支援し、急病時の不安解消に寄与しております。引き続き事業を継続していきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	急病診療等の体制確保については、区民の救急医療体制に対する安心感を支えていくものであることから、今後も事業を継続していきます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	現状維持
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	小児急病診療体制については、全国的な小児科医師不足や子どもの人口減少など、小児医療を取り巻く環境の変化を注視していく必要があり、関係機関の状況把握に努めていく必要があります。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	災害時医療体制の充実				款	04	項	05	目	01	事業	011	整理番号	305
現担当課名	健康推進課			係名	医療連携担当				連絡先電話番号	内線4528			昨年度整理番号	297
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和54年度	実行計画事業	分野	04	施策	13	計画事業	02	05	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和7年度担当課名	健康推進課									事業評価区分	一般			

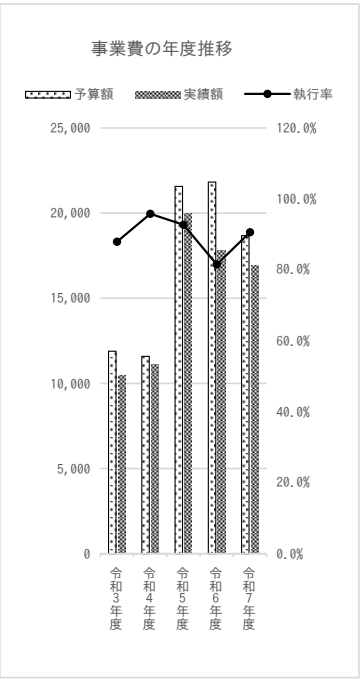
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
災害時に開設する緊急医療救護所、医療救護所、震災救援所	災害対策基本法 杉並区地域防災計画
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○災害時に発生する負傷者等に対して、適切な応急処置等を行える体制を確立する。	○災害拠点病院、災害拠点連携病院等の敷地内に緊急医療救護所を整備し、維持運営を行う。(11病院) ○災害拠点病院、災害拠点連携病院等と連携した、実践的な医療救護訓練を行う。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	災害拠点病院等と連携した医療救護訓練への参加率	訓練対象者（区職員や区医師会の医師等）のうち、訓練に参加した人数の割合	%	計画	－	－	80	80
				実績	－	－	90.6	－
				達成率	－	－	113.3%	－
				計画	－	－	－	－
				実績	－	－	－	－
				達成率	－	－	－	－
成果指標	災害拠点病院等と連携した医療救護訓練への参加者の理解度	訓練参加者のアンケート結果による、自分の役割の理解度が「理解できた」または「ある程度理解できた」と回答した率	%	計画	－	－	90	90
				実績	－	－	95	－
				達成率	－	－	105.6%	－
	分類 行政サービス成果指標							
				計画	－	－	－	－
				実績	－	－	－	－
				達成率	－	－	－	－
	分類							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	11,890	11,589	21,568	21,825	18,675	16,005
			実績額	10,455	11,103	19,994	17,793	16,922	－
			執行率	87.9%	95.8%	92.7%	81.5%	90.6%	－
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	4,252	8,343	8,318	17,579	16,256	16,020
			実績額	7,425	10,564	9,961	17,625	18,423	－
			執行率	174.6%	126.6%	119.8%	100.3%	113.3%	－
	上記以外の職員		予算額	1,088	1,103	736	761	929	981
			実績額	1,103	736	761	929	981	－
			執行率	101.4%	66.7%	103.4%	122.1%	105.6%	－
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	17,230	21,035	30,622	40,165	35,860	33,006
			実績額	18,983	22,403	30,716	36,347	36,326	－
			執行率	110.2%	106.5%	100.3%	90.5%	101.3%	－
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	国・都からの補助金②	千円	予算額	1,002	777	777	777	777	777
			実績額	150	726	774	777	604	－
			執行率	15.0%	93.4%	99.6%	100.0%	77.7%	－
	その他の補助金等③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	1,002	777	777	777	777	777
			実績額	150	726	774	777	604	－
			執行率	15.0%	93.4%	99.6%	100.0%	77.7%	－
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	16,228	20,258	29,845	39,388	35,083	32,229
			実績額	18,833	21,677	29,942	35,570	35,722	－
			執行率	116.1%	107.0%	100.3%	90.3%	101.8%	－



特記事項

令和8年度事務事業評価においては、令和６年度の外部評価を踏まえて、活動指標を「災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の実施」から「災害拠点病院等と連携した医療救護訓練への参加率」に、成果指標を「災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の回数」から「災害拠点病院等と連携した医療救護訓練への参加者の理解度」へ変更したため、令和６年度以前の指標は記載していません。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	305

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	緊急医療救護所運営助成	11	所	5,500
	医療救護所備蓄品管理			3,131
	災害医療活動拠点の整備			2,651
	タブレット端末の購入			3,389
	その他（　災害時歯科医療機器の賃借等　）			2,251
取組成果	杉並区災害時透析医療救護体制について、透析患者へのパンフレット等の配布や関係機関への講演会を実施し制度の周知を図りました。また、区内透析医療機関同士の通信訓練を2回実施し、医療機関の連携を図ることで、より実行力のある体制にすることができました。杉並区災害時周産期医療救護体制については、杉並産婦人科医会と医療従事者の協力に関する協定を締結し、産科を標榜する病院への協力体制を構築することで災害時に分娩対応が必要な妊婦の受入体制を強化することができました。また、熊本地震や能登半島地震では、災害関連死が災害直接死よりも多いことから、発災後早期から災害時要配慮者への支援が必要とされています。このため、東京都が開催した災害時要配慮者医療提供部会に3回参加し、各区市の取組等について情報共有を行うとともに、区の関係課等で支援のあり方について検討しました。 さらに、保健師を中心とした区職員と、保健所、保健センター、震災救援所などに派遣された他自治体職員等が、避難者の健康管理や感染症の発生状況等を共有できるよう、タブレット端末を41台導入し、災害時に迅速な情報把握・共有が可能な仕組みを構築しました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	杉並区災害時透析医療救護体制については、透析患者への周知や透析医療機関の災害時訓練などを通じ、引き続きより実行性のある体制整備に努めていく必要があります。 杉並区災害時周産期医療救護体制については、医療従事者の協力体制を構築したことから、ＩＰ無線を配備し訓練を実施していく必要があります。 また、災害時要配慮者への支援について引き続き東京都や区の関係課等で支援のあり方について検討し、支援体制を強化していく必要があります。 災害拠点病院等と連携した医療救護訓練では、区職員によるタブレット端末を用いた訓練を実施し、情報の迅速・リアルタイムでの連携をしていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	杉並区災害時透析医療救護体制については、透析患者へ災害時透析支援のパンフレット等を配布しているほか、区内透析医療機関同士での通信訓練を実施しています。 杉並区災害時周産期医療救護体制については、分娩を扱う区内医療機関へのＩＰ無線の配備を進めるとともに、医療機関相互の通信訓練を検討していく予定です。 災害時要配慮者への支援について、東京都の自治体向け説明会の参加や、区の関係課等と支援体制について検討しました。 災害拠点病院等と連携した医療救護訓練は11月に荻窪病院、山中病院、タムス杉並病院等と実施し、同時に区職員によるタブレット端末を用いた情報伝達訓練も実施する予定です。
事業の方向性・改善策	災害時に備えるため、災害拠点病院・災害拠点連携病院等11病院への運営協力金の交付による、緊急医療救護所の備蓄品整備を継続していきます。また、緊急医療救護所の医療救護訓練については、災害拠点病院や災害拠点連携病院等と連携した訓練を令和7年度と同規模で継続するとともに、実効性のある訓練内容とするため常に改善点の検証を行い、杉並区災害医療運営連絡協議会を中心として関係機関との連携体制を更に強化していきます。 また、災害関連死を防ぐために、災害時要配慮者への支援について、引き続き医師会をはじめ関係機関、庁内関係部署と検討していくとともに、緊急医療救護所を設置しない災害医療支援病院との連携強化を図っていきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	令和8年熊本地震をはじめ、近年は大規模地震や気象災害が全国各地で発生しており、災害時における医療救護体制の確保はますます重要になっています。そのため、緊急医療救護所や区本部の備品等の整備を進め、災害対応力の強化を図る必要があります。また、避難生活の長期化等に伴う災害関連死を防ぐために、緊急医療救護所を設置しない災害医療支援病院との連携を強化し、切れ目のない医療提供体制を構築していく必要があります。
Ⅱ.事業の改善の方向性	対象の見直し
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	大規模災害発生時における区民の生命と健康を守るため、緊急医療救護所及び災害医療支援病院を含めた医療機関との連携強化を図ります。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	歯科保健医療センター事業			款 04	項 05	目 01	事業 012	整理番号	306
現担当課名	健康推進課	係名	管理係			連絡先電話番号	4528	昨年度整理番号	298
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成13年度		分野 04	施策 13	計画事業				
令和7年度担当課名	健康推進課					事業評価区分	一般		

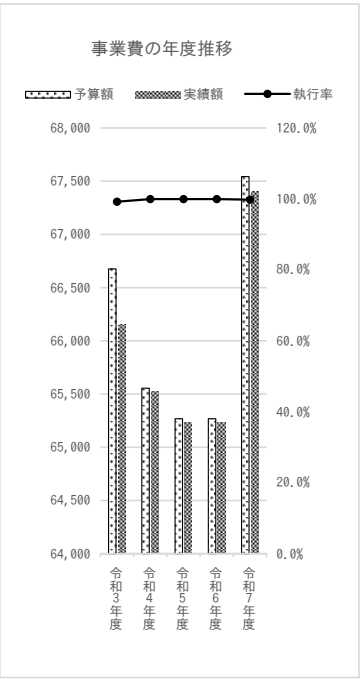
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
○障害者や有病高齢者等で、一般の歯科診療所での診療が困難な区民 ○身近な地域にかかりつけ歯科医を持つことを希望する区民	杉並区立保健医療センター条例 杉並区歯科保健医療センター事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○一般の歯科診療所では受診が困難な障害者や有病高齢者等が安心して歯科診療を受けることができる場を提供する。 ○身近にかかりつけ歯科医を持ち、気軽に相談できる環境をつくる。	○杉並保健所内に、かかりつけ歯科医に関する相談、歯科医療機関の紹介、専門的歯科治療等を行う歯科保健医療センターを設置し、運営を委託により実施する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	延べ診療件数（年間）	歯科保健医療センター診療件数実績	件	計画	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績	6,128	6,256	6,025	-
				達成率	122.6%	125.1%	120.5%	-
	利用者数（延べ）	歯科保健医療センター登録者数	件	計画	4,000	4,000	4,000	4,000
				実績	5,121	5,236	5,120	-
				達成率	128.0%	130.9%	128.0%	-
成果指標	かかりつけ歯科医を持つ区民の割合	区民意向調査による	%	計画	65	65	75	75
				実績	74.7	74.7	75.6	-
				達成率	114.9%	114.9%	100.8%	-
	分類 社会成果（課題）指標							
	延べ診療件数の前年比	診療件数の前年対比	%	計画	100	100	100	100
				実績	98.9	102	96	-
				達成率	98.9%	102.0%	96.0%	-
	分類 行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	66,676	65,555	65,268	65,268	67,543	67,686
			実績額	66,150	65,523	65,237	65,237	67,401	-
			執行率	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	850	834	1,664	2,511	3,422	3,560
			実績額	1,085	998	1,925	2,995	4,005	-
			執行率	127.6%	119.7%	115.7%	119.3%	117.0%	-
	上記以外の職員		予算額	0	368	368	381	0	0
			実績額	0	368	381	371	0	-
			執行率	-	100.0%	103.5%	97.4%	-	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	67,526	66,757	67,300	68,160	70,965	71,246
			実績額	67,235	66,889	67,543	68,603	71,406	-
			執行率	99.6%	100.2%	100.4%	100.6%	100.6%	-
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	67,526	66,757	67,300	68,160	70,965	71,246
			実績額	67,235	66,889	67,543	68,603	71,406	-
			執行率	99.6%	100.2%	100.4%	100.6%	100.6%	-



特記事項

成果指標については、外部評価委員の意見を踏まえ、計画値の見直しを行いました。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	306

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	歯科保健医療センター運営業務委託	1	件	54,122
	歯科保健医療センター医療機器賃借	1	件	10,997
	その他（　　）			2,282
取組成果	一般の歯科診療所で受診が困難な区民を対象とした歯科診療等について、杉並区歯科医師会に委託して杉並区歯科保健医療センターを運営することで、区民が安心して歯科診療を受ける環境を確保しました。また、区内障害者施設職員に向けた口腔ケア指導研修を実施することにより、障害者施設利用者が日常生活において可能な限り自立した口腔ケアができるよう支援することができました。 歯科保健医療センターの事業を円滑かつ適切に実施するため、委託先と事業運営連絡会を2回開催し、連携を図りました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	令和8年度途中に「歯科保健医療センター医療機器賃借」が契約満了を迎えることから、区民がより安心して歯科診療を受けられる環境を整えるため、杉並区歯科医師会等と調整の上、リース機器の更新を行います。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	歯科保健医療センターの運営委託先である杉並区歯科医師会と8月に事業運営連絡会を開催しました。3月にも2回目の連絡会を予定しています。また、今後行われる診療機器等のリース契約更新や、例年実施している区内障害者施設職員を対象とする口腔ケア指導研修の実施に向けて、引き続き連携していきます。 予算執行率は、100％になる見込みです。
事業の方向性・改善策	一般の歯科診療所での治療が困難な障害者の高齢化に加え、高齢者人口の増加に比例して有病高齢者の受診が増加傾向にあることから、引き続き安心して歯科診療を受けられる体制を確保する必要があります。また、身近な地域にかかりつけ歯科医を持つことを希望する区民に、地域の歯科医療機関と連携して、かかりつけ歯科医の相談及び紹介を行い、住み慣れた地域で安心して健康に暮らし続けられる環境を整備する必要があります。 引き続き、歯科保健医療センターの運営委託先である杉並区歯科医師会と連携、協力しながら、リース機器更新後においても区民が安心して利用できるよう努めていきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	一般の歯科診療所での治療が困難な障害者や有病高齢者が、安心して歯科診療を受けられる体制を引き続き確保していきます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	現状維持
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	一般の歯科診療所での治療が困難な障害者や有病高齢者が、安心して歯科診療を受けられる体制を引き続き確保していきます。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	各種衛生検査				款 04	項 05	目 01	事業 024	整理番号	316	
現担当課名	生活衛生課		係名	衛生検査係			連絡先電話番号	４５１４	昨年度整理番号	308	
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和56年度	実行計画事業	分野	04	施策	13	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和7年度担当課名	生活衛生課								事業評価区分	一般	

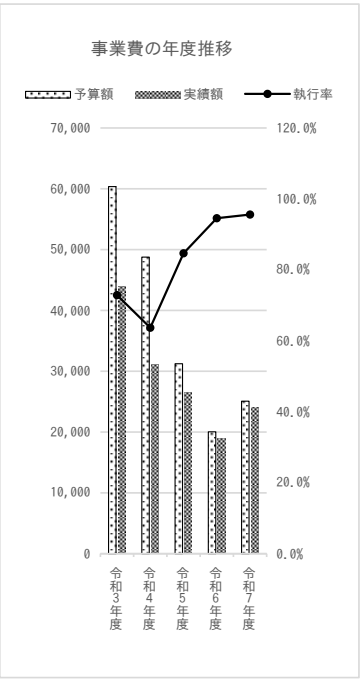
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
区内在住者、区を含む事業所	地域保健法 食品衛生法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○健康被害の未然防止・被害拡大の防止・再発防止のための行政判断に科学的根拠を与える。	○保健所、防災課、学校整備課等から依頼を受け、衛生微生物検査（レジオネラ属菌、腸管出血性大腸菌0157等、サルモネラ、黄色ブドウ球菌等）、腸管系微生物検査（ノロウイルス、腸管出血性大腸菌0157等、赤痢菌、サルモネラ等）、結核菌感染診断検査、性感染症検査等を実施する。 ○学務課、保育課から依頼を受け、給食等を対象とした放射性物質の測定を実施する。 ○流行している感染症など区内の健康課題を踏まえた上で、適宜必要な検査法を確立する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	検査実績検体数	検査を実施した検体の数	件	計画	10,000	10,000	10,000	10,000
				実績	9,616	10,830	11,365	－
				達成率	96.2%	108.3%	113.7%	－
	検体受領回数	検体を受領した回数	回	計画	900	900	900	900
				実績	923	937	945	－
				達成率	102.6%	104.1%	105.0%	－
成果指標	細菌検査項目数	検査依頼に対応した細菌検査項目数の合計	項目	計画	48	44	48	46
				実績	51	52	48	－
				達成率	106.3%	118.2%	100.0%	－
	分類 行政サービス成果指標							
				計画	－	－	－	－
				実績	－	－	－	－
				達成率	－	－	－	－
	分類							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	60,360	48,766	31,233	20,043	25,077	24,770
			実績額	43,994	31,061	26,448	18,953	23,973	－
			執行率	72.9%	63.7%	84.7%	94.6%	95.6%	－
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	58,566	43,170	37,847	38,088	47,058	48,950
			実績額	59,104	43,161	38,423	40,641	48,950	－
			執行率	100.9%	100.0%	101.5%	106.7%	104.0%	－
	上記以外の職員		予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	118,926	91,936	69,080	58,131	72,135	73,720
			実績額	103,098	74,222	64,871	59,594	72,923	－
			執行率	86.7%	80.7%	93.9%	102.5%	101.1%	－
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	国・都からの補助金②	千円	予算額	18,238	39,547	16,440	1,069	3,404	3,072
			実績額	35,762	39,464	16,414	959	3,236	－
			執行率	196.1%	99.8%	99.8%	89.7%	95.1%	－
	その他の補助金等③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	18,238	39,547	16,440	1,069	3,404	3,072
			実績額	35,762	39,464	16,414	959	3,236	－
			執行率	196.1%	99.8%	99.8%	89.7%	95.1%	－
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	100,688	52,389	52,640	57,062	68,731	70,648
			実績額	67,336	34,758	48,457	58,635	69,687	－
			執行率	66.9%	66.3%	92.1%	102.8%	101.4%	－



特記事項

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	316

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	検査用機器の賃借、備品購入			6,873
	各種試験・検査材料購入、検査委託、機器の修理及び保守点検			14,840
	検査の精度管理			304
	新型感染症検査用備蓄			1,956
	その他（　　）			0
取組成果	腸管出血性大腸菌感染症の散発事例に伴う微生物検査をはじめ、庁内各課からの依頼に対し、迅速かつ正確な検査を行いました。併せて、食品苦情に関する検査や給食食材の放射能測定などを行い科学的根拠を示すことにより、区民の健康不安の解消に努めました。また、性感染症検査として、ＨＩＶ、梅毒に加えてＢ型肝炎の検査を開始したほか、結核の陰性確認のための遺伝子検査を実施するなど、感染症対策の充実を図りました。 新興・再興感染症の発生に備え、「杉並区感染症予防計画」に基づき、病原体等検査に要する試薬・消耗品等の備蓄及び計画的な検査機器の更新を進めるとともに、集団感染症発生時への対応を想定した実践型訓練を実施することにより、検査体制の確保・充実を図りました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	区における感染症等の試験検査等の技術的・専門的な実施機関として、引き続き法的検査及び新興・再興感染症等の健康危機発生時に即応することのできる検査体制の確保・充実を図るため、平時から検査機器の整備や検査試薬等の備蓄に加え、検査手技訓練を行い、検査能力の維持向上に取り組む必要があります。 また、検査の信頼性を確保するため、引き続き検査精度の確認及び評価を計画的に行い、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査に参加するとともに、保有している検査機器の保守点検及び更新についても計画的に行う必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	庁内各課からの依頼に対し、迅速かつ正確な検査を継続して実施しています。特に、緊急対応を必要とする感染症や食中毒の発生時等には、土日も含め早急に対応しています。 また、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査等に参加するとともに、保有している検査機器の保守点検及び耐用年数の超過した検査機器の更新を行い、検査の信頼性の確保に努めています。 併せて、健康危機発生時に備え、「杉並区感染症予防計画」及び「杉並区新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、平時から検査機器の整備や検査試薬等の備蓄を行うとともに、検査手技訓練としての実践型訓練を実施するなど、検査体制の確保・充実に努めています。年度末までの予算執行率は90％を超える見込みです。
事業の方向性・改善策	「杉並区感染症予防計画」及び「杉並区新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、平時からの計画的な検査体制の確保・充実を図ります。そのため、保有している検査機器の保守点検及び更新を継続的に行い、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査に参加するとともに、人材育成を計画的に実施していきます。併せて、健康危機発生時に即応するための検査試薬等の備蓄及び実践型訓練を実施していきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	庁内各課からの依頼に対し検査を迅速に実施するとともに、新たな検査需要にも対応していくため、試薬及び器材の購入費用が継続して見込まれます。また、検査体制の確保・充実のため、老朽化した検査備品を計画的に更新するための費用、検査機器の維持管理費用、健康危機発生時に即応するための検査試薬等の備蓄費用及び人材育成のための研修費用の需要も見込まれます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	現状維持
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	庁内各課からの依頼に対し、迅速かつ正確な検査を継続して実施していきます。 また、新興・再興感染症の発生に備え、「杉並区感染症予防計画」及び「杉並区新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、平時から計画的に検査体制の確保・充実を図ります。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	在宅医療体制の充実				款	04	項	05	目	01	事業	025	整理番号	317
現担当課名	在宅医療・生活支援センター			係名	在宅医療・介護連携推進係				連絡先電話番号	03-5335-7317			昨年度整理番号	309
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成21年度	実行計画事業		分野	04	施策	13	計画事業	03					
令和7年度担当課名	在宅医療・生活支援センター								事業評価区分	一般				

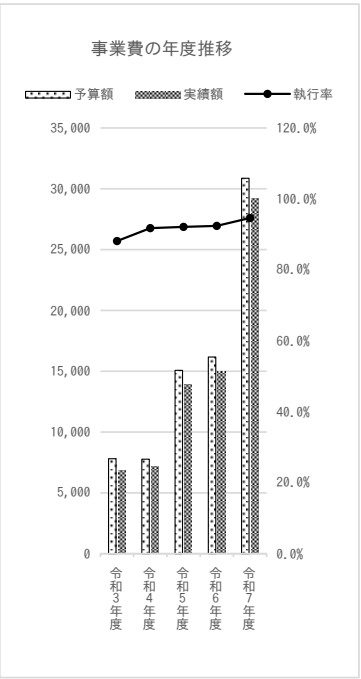
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
在宅療養者及び医療・介護の関係者	杉並区在宅医療・介護連携推進事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○在宅療養者が住み慣れた地域で安心して医療を受けられるように、在宅医療体制を充実させる。	○医療・介護の関係者が在宅療養者の情報を効率的に共有できるようにするため、杉並区医師会の多職種連携ＩＣＴシステムに係る運用経費を補助する。 ○疾病や外傷等に伴う外見の変化で悩みを抱えている患者の心理的及び経済的な負担軽減を目的として、ウィッグ・胸部補整具の購入費等を助成する。 ○在宅療養者の入院体制を確保するため、在宅療養者の一時的な受け入れを行った後方支援病床の協力病院に対して補助を行う。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	ウィッグ購入費等助成事業のチラシ・ＰＲカード配布部数		部	計画	4,000	300	340	450
				実績	4,000	380	430	-
				達成率	100.0%	126.7%	126.5%	-
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-
成果指標	多職種連携ＩＣＴシステムの利用者数		人	計画	400	400	430	460
				実績	382	415	432	-
				達成率	95.5%	103.8%	100.5%	-
	分類　行政サービス成果指標							
	ウィッグ購入費等の助成件数		件	計画	200	250	300	300
				実績	233	283	297	-
				達成率	116.5%	113.2%	99.0%	-
	分類　行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	7,807	7,769	15,074	16,170	30,866	56,239
			実績額	6,880	7,129	13,886	14,941	29,208	-
			執行率	88.1%	91.8%	92.1%	92.4%	94.6%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	3,826	7,926	8,318	8,371	8,556	8,900
			実績額	5,006	9,150	10,045	8,556	12,460	-
			執行率	130.8%	115.4%	120.8%	102.2%	145.6%	-
	上記以外の職員		予算額	6,893	7,350	7,356	6,853	8,357	8,831
			実績額	6,983	6,694	6,853	8,357	8,831	-
			執行率	101.3%	91.1%	93.2%	121.9%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	18,526	23,045	30,748	31,394	47,779	73,970
			実績額	18,869	22,973	30,784	31,854	50,499	-
			執行率	101.9%	99.7%	100.1%	101.5%	105.7%	-
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金②	千円	予算額	13,071	13,044	12,954	11,374	13,591	33,325
			実績額	10,623	10,916	14,203	12,407	12,412	-
			執行率	81.3%	83.7%	109.6%	109.1%	91.3%	-
	その他の補助金等③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	13,071	13,044	12,954	11,374	13,591	33,325
			実績額	10,623	10,916	14,203	12,407	12,412	-
			執行率	81.3%	83.7%	109.6%	109.1%	91.3%	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	5,455	10,001	17,794	20,020	34,188	40,645
			実績額	8,246	12,057	16,581	19,447	38,087	-
			執行率	151.2%	120.6%	93.2%	97.1%	111.4%	-



特記事項

「ウィッグ購入費助成事業」について、令和7年度11月より対象拡大及び助成金額を増額したため、令和7年度は前年度に比べて事業費が増加しました。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	317

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	多職種連携ＩＣＴシステムの運用支援			6,353
	ウィッグ購入費等の助成	297	件	22,656
	後方支援病床の支援	20	日	160
	その他（　消耗品の購入等　）			39
取組成果	医療・介護の関係者の効率的な情報共有を支援するため、杉並区医師会が運用する多職種連携ＩＣＴシステムについて、運用経費の補助を行いました。また、システムの普及拡大を図るため、杉並区医師会と協力して在宅医療地域ケア会議の関係者等に周知を行った結果、令和7年度末時点での利用者数は432人となりました。 加えて、がん患者のウィッグ購入費等の助成事業については、都や他自治体の動向を踏まえて、令和7年11月よりがん以外の疾病や外傷等も含めた対象拡大及び助成金額の増額を行い、計297件の助成を行いました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	高齢者人口の増加に伴い、在宅医療のニーズが高まっており、在宅医療体制をより一層充実させることが必要です。 ウィッグ購入費等助成事業については、対象拡大及び助成金額の増額を行ったことにより、対象者等が増加し、昨年度の283件を超える助成件数となりました。これは、制度拡充後、区ホームページ等を通じた速やかな周知を実施するとともに、利用者が必要な情報を取得しやすい環境づくりとして、販売店等へ直接PRカードを配布するなど、周知の強化に取り組んだ成果によるものと考えられます。 また、多職種連携ICTシステムの運用支援や後方支援病床の支援については、医師会との情報共有や医師・介護事業者への事業周知を十分に図り、現場の意見の把握に努めながら進めていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	ウィッグ購入費等助成事業について、昨年度同様、区ホームページやPRカードの医療機関等への配布により、対象者への周知を行いました。助成件数は、8月末時点（7月申請分まで）で142件となっており、昨年度同時期の62件よりも大幅に増加しています。 また、チラシ等により区内医療機関や介護事業所に多職種ICTシステムや後方支援病床の周知を行い、登録数の増加や認知度の向上を図りました。 杉並区医師会が実施する「24時間診療体制推進事業」については、東京都から医師会への直接補助から区市町村を事業主体とする間接補助方式に今年度移行し、専門領域外診療に対する支援事業を新たに追加しました。事業実施にあたり、実施方法を区と医師会で検討し、6月から運用を開始しました。
事業の方向性・改善策	ウィッグ購入費等助成事業については、令和7年11月から対象品目を拡大したことに伴い、これまで申請実績のなかった品目に係る申請も見られるようになっています。今後は、他自治体の取組状況や制度の趣旨を踏まえながら、制度の適切な運用に取り組みます。 多職種連携ICTシステム及び後方支援病床については、8月から各圏域で開催している在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進多職種研修等の機会を活用し、引き続き医療・介護関係者に対して事業の周知を行います。 令和8年度から開始した24時間診療体制推進事業については、医師会との定期的な意見交換を通じて課題の把握に努めるとともに、在宅医療を実施する医療機関への周知を進め、事業の活用促進を図ります。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	令和8年度の途中から「24時間診療体制推進事業」を開始したため、令和9年度は、杉並区医師会への補助金が令和8年度と比べて増額となります。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	多職種連携ICTシステム、後方支援病床及び24時間診療体制推進事業については、医師会との情報共有や医師・介護事業者への事業周知を十分に図り、現場の意見の把握にしながら進めていきます。 また、若年がん患者への支援など、他制度では現在十分な支援が行き届かない在宅療養者への支援について、国及び東京都の動向も注視しつつ、利用者の精神的・経済的負担の軽減につながる仕組みの検討を引き続き進めてまいります。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	予防接種			款 04	項 05	目 05	事業 001	整理番号	333
現担当課名	保健予防課	係名				連絡先電話番号		昨年度整理番号	324
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実				予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和23年度		分野 04	施策 13	計画事業				
令和7年度担当課名	保健予防課					事業評価区分	一般		

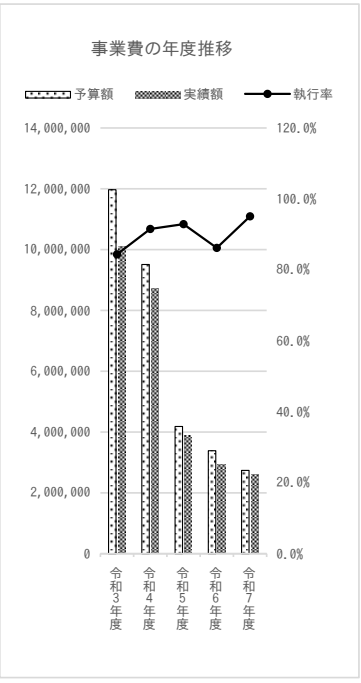
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
法令及び要綱に定める接種年齢に該当する区民	予防接種法 特別区予防接種相互委託協定書
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○Ａ類疾病（ロタ、Ｂ型肝炎、5種混合、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、結核、小児の肺炎球菌感染症、ＨＰＶ）、Ｂ類疾病（インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、新型コロナウイルス感染症、帯状疱疹）の発生及びまん延を予防する。○任意予防接種の費用を助成することで、接種しやすい環境を作り、疾病予防を推進する。	○法令で定められた予防接種を実施する。 ○保護者が予防接種について正しく理解し、接種するよう、普及啓発を行う。 ○一部の法定外予防接種に対し、接種費用の助成を行う。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	Ａ類予防接種の接種件数		件	計画	112,000	110,000	104,000	89,000
				実績	110,340	104,652	89,470	-
				達成率	98.5%	95.1%	86.0%	-
	Ｂ類予防接種の接種件数		件	計画	74,000	74,000	96,000	108,000
				実績	75,341	101,475	109,607	-
				達成率	101.8%	137.1%	114.2%	-
成果指標	1歳6か月児健診受診者の麻しん、麻しん風しん混合予防接種の接種率	接種件数÷対象者数	%	計画	100	100	100	100
				実績	98.3	94	97.7	-
				達成率	98.3%	94.0%	97.7%	-
	分類 行政サービス成果指標							
	Ａ類予防接種の接種率	接種件数÷対象者数	%	計画	100	100	100	100
				実績	96.7	96	98.5	-
				達成率	96.7%	96.0%	98.5%	-
	分類 行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	11,969,798	9,510,337	4,183,548	3,386,335	2,739,069	2,749,649
			実績額	10,100,269	8,705,408	3,886,135	2,918,934	2,604,703	-
			執行率	84.4%	91.5%	92.9%	86.2%	95.1%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	126,270	237,314	205,009	95,948	58,609	59,986
			実績額	269,071	300,908	227,915	96,573	65,526	-
			執行率	213.1%	126.8%	111.2%	100.7%	111.8%	-
	上記以外の職員		予算額	18,140	29,400	25,746	15,228	9,286	9,812
			実績額	29,400	33,102	26,649	14,718	9,812	-
			執行率	162.1%	112.6%	103.5%	96.7%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	12,114,208	9,777,051	4,414,303	3,497,511	2,806,964	2,819,447
			実績額	10,398,740	9,039,418	4,140,699	3,030,225	2,680,041	-
			執行率	85.8%	92.5%	93.8%	86.6%	95.5%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金 ②	千円	予算額	10,243,319	7,319,139	2,157,854	152,017	160,707	114,681
			実績額	10,107,576	7,073,005	2,450,150	602,033	203,009	-
			執行率	98.7%	96.6%	113.5%	396.0%	126.3%	-
	その他の補助金等 ③	千円	予算額	111,482	104,802	123,490	770,223	202,534	184,514
			実績額	125,335	152,918	141,920	188,090	176,745	-
			執行率	112.4%	145.9%	114.9%	24.4%	87.3%	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	10,354,801	7,423,941	2,281,344	922,240	363,241	299,195
			実績額	10,232,911	7,225,923	2,592,070	790,123	379,754	-
			執行率	98.8%	97.3%	113.6%	85.7%	104.5%	-
	差引：一般財源 （総事業費-特定財源）	千円	予算額	1,759,407	2,353,110	2,132,959	2,575,271	2,443,723	2,520,252
			実績額	165,829	1,813,495	1,548,629	2,240,102	2,300,287	-
			執行率	9.4%	77.1%	72.6%	87.0%	94.1%	-



特記事項

○HPVのキャッチアップ接種（経過措置を除く）が終了したことにより事業費が減少しました。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	333

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	子どもの定期予防接種事業の実施	89,470	件	1,390,649
	Ｂ類予防接種事業の実施	109,607	件	808,472
	任意予防接種事業の実施	64,242	件	309,587
	その他（　健康被害救済、印刷等事務費の支出ほか　）			95,995
取組成果	令和7年4月から帯状疱疹予防接種が定期予防接種化されたことから、任意の帯状疱疹予防接種費用助成については1年間の経過措置の後、令和8年3月末で終了しました。終了する旨を広報や医療機関を通じて区民に周知したことにより、接種件数は、令和6年度に比べ約1.5倍になりました。 令和7年4月から小6～高1相当の男性に対するＨＰＶワクチンの任意接種費用助成を開始し、経済的負担を軽減することができました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	令和8年4月から妊婦の方へのRSウイルスワクチンは定期予防接種になりました。接種対象者等に対して正確でわかりやすい情報提供及び周知が必要です。 また、令和8年度から、インフルエンザワクチンの定期接種として、75歳以上の方は、標準量インフルエンザワクチンと高用量インフルエンザワクチンを選択できるようになるため、情報提供を行い、区民が選択できる環境を整えることが重要です。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	4月から定期接種の対象となったRSウイルスワクチンについては、開始前後は妊婦の方や医療機関から予診票の発行等に関する問い合わせが多く寄せられましたが、適切に対応することができました。 高用量インフルエンザワクチンについては、企業の薬事承認・供給状況を踏まえ、令和8年度からの定期接種化は見送られました。 また、予防接種システムの標準化について、令和10年1月の稼働に向けてシステムベンダと調整を行っていきます。更に、予防接種事務のデジタル化について、令和10年8月の開始に向けて検討を行います。
事業の方向性・改善策	近隣区の実施状況を踏まえ、令和8年10月から小児インフルエンザ予防接種費用助成（任意）の対象年齢上限を12歳までから18歳までに拡大し、保護者の経済的負担軽減を図ります。 また、都内における麻しん患者の急増を受け、今年度東京都が麻しん予防接種費用に対する補助事業を開始しました。現在の流行状況は落ち着いてきたものの、予断を許さない状況のため、令和８年11月から妊娠希望者やそのパートナー、妊婦のパートナー、０歳児の同居者等を対象に、麻しん抗体検査・予防接種の全額費用助成を開始します。開始にあたっては、制度に関する情報提供を迅速かつ丁寧に行っていきます。 予防接種を受けることで感染症のまん延や感染時の重症化を防止するため、引き続き、予防接種が円滑に実施できるよう正確な事務処理を進めるとともに、予防接種に関する正確な情報提供を行います。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	令和8年度で終了予定の予防接種はないため、令和8年度と同程度の事業コストが見込まれます。 令和9年度より開始が検討されている予防接種として、A類疾病のおたふくかぜ、RSV抗体製剤があり、引き続き国の動向を注視します。
Ⅱ.事業の改善の方向性	現状維持
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	希望する区民が安心して接種できる体制を整えます。また、区民へ適切な情報提供・周知を引き続き行います。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	感染症予防・発生時対策				款	04	項	05	目	05	事業	002	整理番号	334
現担当課名	保健予防課			係名	感染症係				連絡先電話番号	4525			昨年度整理番号	325
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和50年度	実行計画事業		分野	04	施策	13	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和7年度担当課名	保健予防課									事業評価区分	一般			

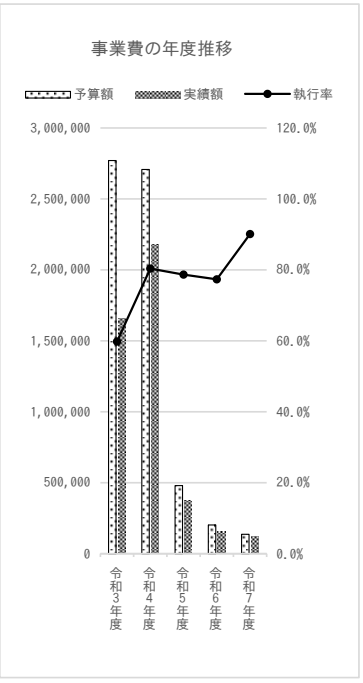
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
区民、感染症患者及びその接触者等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○感染症発生時に迅速かつ的確に対応し、まん延の防止を図るなど区民の健康を守る。 ○区民が感染症に関する正しい知識を持ち、自ら感染症の予防ができるようにする。	○感染症の発生を早期に探知し、疫学調査や拡大防止のための指導を行う。システムを構築・導入し、利便性向上及び業務効率化を図り、区民対応の質を向上させる。 ○結核患者の医療費公費負担や服薬支援等の療養支援を適切に行う。また、感染者の早期発見のため、感染症法で定められた定期健診の実施、接触者調査やＱＦＴ検査を適切に行う。 ○区民に対し、感染症予防に関する普及啓発を行う。 ○ＨＩＶ等の早期発見のため、性感染症検査を実施する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	結核患者に対する保健指導件数（訪問、面接、電話等）		件	計画	1,600	1,600	2,000	2,000
				実績	2,117	2,800	2,601	-
				達成率	132.3%	175.0%	130.1%	-
	HIV等性感染症相談件数（電話相談含む）		件	計画	1,986	1,585	1,600	1,500
				実績	1,071	1,084	994	-
				達成率	53.9%	68.4%	62.1%	-
成果指標	治療成功率	100％－治療失敗率（治療が失敗中断した患者数÷結核患者数）	%	計画	95	95	95	95
				実績	94	92	94.5	-
				達成率	98.9%	96.8%	99.5%	-
	分類　社会成果（課題）指標							
	保健所HIV抗体検査数	即日検査委託分を含む	件	計画	660	775	860	770
				実績	527	549	503	-
				達成率	79.8%	70.8%	58.5%	-
	分類　行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	2,770,481	2,707,513	479,774	202,344	136,756	142,618
			実績額	1,656,714	2,175,836	377,430	156,483	123,218	-
			執行率	59.8%	80.4%	78.7%	77.3%	90.1%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	203,519	260,841	189,734	122,417	94,092	93,505
			実績額	339,958	337,488	179,391	125,897	99,702	-
			執行率	167.0%	129.4%	94.5%	102.8%	106.0%	-
	上記以外の職員		予算額	15,963	30,356	18,390	3,807	4,643	4,906
			実績額	32,193	30,380	11,726	4,643	4,906	-
			執行率	201.7%	100.1%	63.8%	122.0%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	2,989,963	2,998,710	687,898	328,568	235,491	241,029
			実績額	2,028,865	2,543,704	568,547	287,023	227,826	-
			執行率	67.9%	84.8%	82.6%	87.4%	96.7%	-
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金②	千円	予算額	1,332,751	1,805,910	189,005	42,820	15,912	22,718
			実績額	1,502,460	1,962,669	174,419	38,272	12,349	-
			執行率	112.7%	108.7%	92.3%	89.4%	77.6%	-
	その他の補助金等③	千円	予算額	5,000	1,000	1,000	0	0	0
			実績額	0	3,565	4,541	-	0	-
			執行率	0.0%	356.5%	454.1%	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	1,337,751	1,806,910	190,005	42,820	15,912	22,718
			実績額	1,502,460	1,966,234	178,960	38,272	12,349	-
			執行率	112.3%	108.8%	94.2%	89.4%	77.6%	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	1,652,212	1,191,800	497,893	285,748	219,579	218,311
			実績額	526,405	577,470	389,587	248,751	215,477	-
			執行率	31.9%	48.5%	78.2%	87.1%	98.1%	-



特記事項

○執行残及び事業費が減少した理由は、結核対策において訪問看護ステーションＤＯＴＳの対象者がいなかったことと肺がん検診と同時実施している胸部エックス線検査において、受検者数が見込みを下回ったことによります。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	334

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	結核対策（診査協議会運営費含む）			104,800
	すぎなみ感染症患者等情報管理システムの運用			13,768
	ＨＩＶ等性感染症対策			4,126
	その他（　その他感染症に関する普及啓発事業　）			524
取組成果	新型コロナウイルス感染症の対応時に活用したシステムを基に令和6年度に改修・構築した「すぎなみ感染症患者等情報管理システム」を平時から継続して活用することで、今後起こり得る新興・再興感染症への迅速な対応が可能になりました。 結核対策については、服薬支援（ＤＯＴＳ）や定期的な面接・電話による健康確認等の患者支援に取り組んだ結果、患者の服薬継続が促進され、治療中断の防止につながり、高い治療成功率を維持できました。 ＨＩＶ等性感染症対策については、通常検査としてＨＩＶ抗体検査を必須とし、その他4項目（梅毒、クラミジア、淋菌、Ｂ型肝炎）の実施や、即日検査を世界エイズデーに合わせて実施するなどした結果、ＨＩＶ：503件、梅毒：497件、クラミジア：454件、淋菌：454件、Ｂ型肝炎：473件となり、早期発見・早期治療につながる検査機会を確保し、受検者数が高い水準で推移しました。 その他の感染症対策については、災害時への備えをテーマとしたチラシを作成・配布し、区民へ広く周知した結果、災害時における感染症予防に対する啓発につながりました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	すぎなみ感染症患者等情報管理システムを継続して活用することにより、業務上の課題等を抽出し平時からシステムを安定的に運用させ、新興・再興感染症が起きた際に迅速に対応することが必要となります。 杉並区の結核新規登録患者数の推移は、令和5年：32名、令和6年：40名、令和7年：48名となり、近年の減少傾向から増加に転じており、特に結核まん延国からの転入者や高齢者が増加しています。今後は外国人・高齢者の患者、それに伴う接触者の対応が増加する可能性があります。 ＨＩＶ等性感染症については、感染者の早期発見が重要であるため、検査体制を充実させて受験者数を増やす必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	すぎなみ感染症患者等情報管理システムを活用し、結核やその他感染症の患者等の管理、情報共有、データ集計が可能になりました。これにより、利便性が向上し、業務の効率化につながりました。 結核対策は、結核まん延国からの転入者が多く在籍する区内の日本語学校を対象に、検診を実施しています。また、結核患者が服薬を継続できるよう、阻害要因を評価し、患者の状態にあった服薬支援を行っています。 ＨＩＶ等性感染症は月２回のＨＩＶ、梅毒、淋菌、クラミジアの検査を継続実施するほか、１２月の東京都ＨＩＶ検査・相談月間や世界エイズデーの取組に合わせ、ＨＩＶ、梅毒の即日検査の実施を予定しています。 感染症予防については、その他感染症予防として医療機関にリーフレット、結核予防として福祉施設にウエットティッシュの作成・配布をし、感染症予防に関する知識の啓発を実施する予定です。
事業の方向性・改善策	すぎなみ感染症患者等情報管理システムを活用し、患者管理や情報共有等の日常業務の効率化を図るほか、今後新興・再興感染症が起きた際に迅速に対応できるよう、システムを安定運用していきます。 結核対策は、長期的かつ継続的な取組が必要なため、法律に基づく検診を着実に実施するとともに、今後さらに増加が予想される外国出生者への検診を継続実施していきます。また、結核患者に対する服薬支援について、確実に服薬し治療を完遂するよう、きめ細やかな支援を行っていきます。 ＨＩＶ等性感染症は、ＨＩＶ、梅毒、淋菌、クラミジアの通常検査を継続実施するほか、東京都ＨＩＶ検査・相談月間や世界エイズデーの取組に合わせ、普及啓発していきます。 感染症予防については、テーマや対象を検討し、引き続き感染症予防に関する知識の普及啓発を実施していきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	すぎなみ感染症患者等情報管理システムの運用にかかる経費は、システム保守やライセンス料が継続してかかります。結核対策は、長期的に継続して取り組む必要があり、現在実施している対策を引き続き行っていきます。ＨＩＶ等性感染症は、感染者の早期発見が重要であるため、検査の継続実施が必要です。 以上の理由により、令和８年度と同程度の事業コストが見込まれます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	現状維持
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	すぎなみ感染症患者等情報管理システムを活用し、日常業務の効率化を図るとともに、新興・再興感染症が起きた際に迅速に対応できるよう安定運用していきます。 結核対策は、長期的に継続して取り組む必要があり、現在実施している対策を引き続き行っていきます。 ＨＩＶ等性感染症は、感染者の早期発見が重要であるため、検査を継続実施していきます。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	新型インフルエンザ等対策				款 04	項 05	目 05	事業 003	整理番号	335	
現担当課名	保健予防課			係名 感染症係			連絡先電話番号	4525	昨年度整理番号	326	
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成19年度	実行計画事業	分野 04	施策 13	計画事業 04		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和7年度担当課名	保健予防課						事業評価区分	一般			

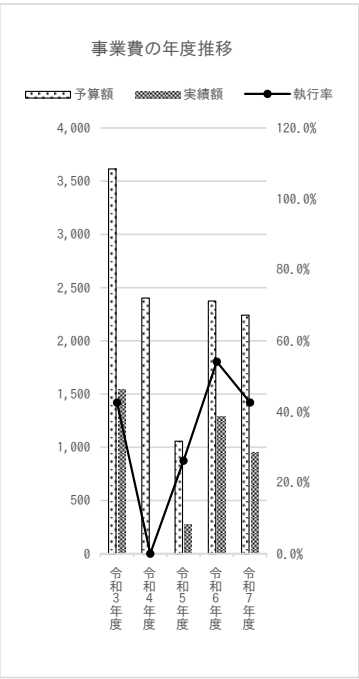
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
区民、区内在学・在勤者、区内企業、医療機関等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○適切な防疫措置等を実施し、急激な患者の増加を抑えるなど、医療の破綻や社会的混乱を防ぐ。 ○区民等が新型インフルエンザについての正しい知識のもと、予防に努めるとともに発生時に冷静な対応ができるようにする。	○発生期における危機管理体制及び保健医療体制の整備を行う。 ○発生時に感染拡大防止のための防疫措置等を実施する。 ○区民・関係団体への情報提供・普及啓発を行う。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	普及啓発活動回数		回	計画	1	1	1	1
				実績	1	1	1	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
	医療関係機関との連絡会の回数		回	計画	1	1	2	2
				実績	1	1	2	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標	啓発動画の視聴回数		回	計画	3,000	3,000	3,000	1,000
				実績	3,736	3,200	675	-
				達成率	124.5%	106.7%	22.5%	-
	分類 行政サービス成果指標							
	杉並区新型インフルエンザ等対策関係機関連絡会への医療機関の参加数		団体	計画	6	6	6	6
				実績	10	12	13	-
				達成率	166.7%	200.0%	216.7%	-
	分類 社会成果（課題）指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	3,615	2,402	1,057	2,374	2,241	2,160
			実績額	1,540	0	277	1,285	955	-
			執行率	42.6%	0.0%	26.2%	54.1%	42.6%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	5,952	5,840	5,823	17,579	10,609	11,036
			実績額	5,840	5,823	5,860	4,278	10,591	-
			執行率	98.1%	99.7%	100.6%	24.3%	99.8%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	9,567	8,242	6,880	19,953	12,850	13,196
			実績額	7,380	5,823	6,137	5,563	11,546	-
			執行率	77.1%	70.7%	89.2%	27.9%	89.9%	-
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金②	千円	予算額	0	0	0	638	20	0
			実績額	352	0	0	0	27	-
			執行率	-	-	-	0.0%	135.0%	-
	その他の補助金等③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	638	20	0
			実績額	352	0	0	0	27	-
			執行率	-	-	-	0.0%	135.0%	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	9,567	8,242	6,880	19,315	12,830	13,196
			実績額	7,028	5,823	6,137	5,563	11,519	-
			執行率	73.5%	70.7%	89.2%	28.8%	89.8%	-



特記事項

○杉並区感染症予防計画に基づき計画的に購入しているが、入れ替え対象備品が少なかったため、執行残となりました。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	335

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	備蓄品の購入（防護服等の購入）			238
	保健所職員及びＩＨＥＡＴ要員の訓練の実施	2	回	565
	その他（　消耗品の購入等　）			152
取組成果	杉並区インフルエンザ等対策関係機関連絡会を令和7年7月と12月に開催し、杉並区新型インフルエンザ等対策行動計画の改定に関する意見交換や情報共有を行い、医師会・薬剤師会・医療機関等との更なる連携強化を図りました。 保健所の機能強化の取組の一環として、杉並保健所健康危機管理対策会議の定例化と、感染症対応業務に係る既存のマニュアルを見直すとともに、健康危機対処計画（感染症編）に関する職員向け説明会を実施しました。また、ＩＨＥＡＴ要員や保健所職員を対象とした研修や実践型訓練を実施し、平時からの体制強化に取り組みました。 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえて、防護服やＮ95マスク等の防疫用備品を計画的に購入することとし、防疫体制を強化しました。 普及啓発については、令和5年度に作成した社会福祉施設職員向けの感染対策に対する研修動画を引き続き区ホームページに公開し、施設における集団感染予防活動の促進を図りました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	今後も起こり得る新興・再興感染症に適切に対応するため、平時から新型インフルエンザ等対策関係機関連絡会を適宜開催するなど、医師会や医療機関等との更なる連携強化に努めることが重要です。 健康危機発生に即応できるよう、継続的に研修や実践的訓練等を実施するほか、保健所各課との連携強化に引き続き取組む必要があります。 防疫用備品は、杉並区感染症予防計画に基づき、必要な物品等を選定や確保数を精査し、計画的に購入することが必要です。 今後も起こり得る新興・再興感染症の流行を踏まえた一般区民向けの啓発活動が必要です。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	新型コロナ対応を踏まえ、全庁的な体制で対応するための計画として、５月に杉並区新型インフルエンザ等対策行動計画を改定しました。 ８月に新型インフルエンザ等対策関係機関連絡会を開催し、医師会や医療機関等と連携協力体制の確保を図りました。また、月に１回杉並保健所健康危機管理対策会議を開催し、健康危機発生時に迅速かつ適切な対応ができるよう、保健所内各課における情報共有及び連携強化に取り組んでいます。 杉並区感染症予防計画に基づき、６月に保健所職員を対象とした防護服着脱訓練を実施しました。７月と９月にＩＨＥＡＴ要員及び保健所職員等を対象とした感染対策の基礎知識や積極的疫学調査の研修を開催しました。 防疫用備蓄品は必要な物品等の選定や確保数を精査し、令和９年１月に購入を予定しています。 一般区民向けの啓発活動については、新型コロナウイルス感染症をはじめとした呼吸器感染症の感染予防策について広報で発信する予定です。
事業の方向性・改善策	平時から新型インフルエンザ等対策関係機関連絡会を適宜開催し、医師会や医療機関等との更なる連携強化を図ります。 健康危機発生時に即応できるよう、ＩＨＥＡＴ要員及び保健所職員等を対象とした研修や実践的訓練を計画的に実施します。また、オールハザードアプローチの視点を取り入れ、多様な健康危機に共通する組織的対応能力の向上を図ることにより、新型インフルエンザ等対応への支援体制を強化します。 防疫用備蓄品は、必要な物品等の選定や確保数を精査し、計画的に備蓄していきます。 令和８年５月に改定した杉並区新型インフルエンザ等対策行動計画について、健康危機対処計画や業務継続計画（ＢＣＰ）等との整合を図り、実効的な計画とし、本計画に基づき予防対策を図っていきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	新型インフルエンザ感染症等の新興・再興感染症の予防対策として、杉並区感染症予防計画や健康危機対処計画に基づき、平時から研修や実践的訓練の計画的な実施、防疫用備蓄品の確保、医療機関等との連携など防疫体制の強化に取り組む必要があります。また、区ホームページや広報を活用した情報発信や普及啓発などの感染症対策を推進していきます。以上の理由により、令和８年度と同程度の事業コストが見込まれます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	現状維持
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	オールハザードアプローチに基づく新たな視点を追加するなど、ＩＨＥＡＴ要員及び保健所職員等を対象とした研修や実践的訓練の実施方法を検討し、実践的な対応力の強化を図ります。また、防疫用備蓄品の確保数を精査します。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	在宅医療・介護連携推進			款	04	項	02	目	02	事業	001	整理番号	574
現担当課名	在宅医療・生活支援センター		係名	在宅医療・介護連携推進係						連絡先電話番号		昨年度整理番号	573
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実								予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成23年度	実行計画事業	分野	04	施策	13	計画事業	03					
令和7年度担当課名	在宅医療・生活支援センター									事業評価区分	一般		

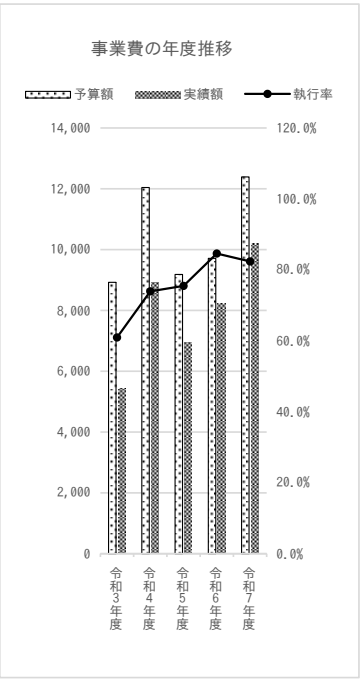
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
在宅療養者及び医療・介護の関係者	杉並区在宅医療推進連絡協議会設置要綱 杉並区在宅医療・介護連携推進事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○在宅療養者が住み慣れた地域で安心して医療を受けられるように、在宅医療と介護の連携を推進する。	○区及び関係機関による在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進連絡協議会のほか、医療・介護の関係者を対象とした在宅医療推進多職種研修や在宅医療推進フォーラムを開催し、在宅医療と介護の連携を推進する。 ○在宅医療相談調整窓口を設置し、区民及び医療・介護の関係者から在宅医療に関する相談を受け付ける。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	在宅医療地域ケア会議の開催回数	全体会を含む	回	計画	21	15	15	15
				実績	15	15	15	-
				達成率	71.4%	100.0%	100.0%	-
	在宅医療相談調整窓口の開設日数		日	計画	243	243	243	243
				実績	243	243	243	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標	在宅医療地域ケア会議の参加者数	全体会を含む	人	計画	743	970	970	950
				実績	959	901	864	-
				達成率	129.1%	92.9%	89.1%	-
	分類　行政サービス成果指標							
	在宅医療相談調整窓口の相談件数		件	計画	500	400	400	400
				実績	282	292	279	-
				達成率	56.4%	73.0%	69.8%	-
	分類　行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	8,924	12,042	9,183	9,712	12,390	10,065
			実績額	5,439	8,905	6,932	8,217	10,207	-
			執行率	60.9%	73.9%	75.5%	84.6%	82.4%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	8,928	16,686	16,636	16,742	17,112	17,800
			実績額	16,269	18,300	17,579	17,112	18,957	-
			執行率	182.2%	109.7%	105.7%	102.2%	110.8%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	3,991	1,838	1,839	2,665	3,250	3,434
			実績額	4,043	1,839	2,665	3,250	3,434	-
			執行率	101.3%	100.1%	144.9%	122.0%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	21,843	30,566	27,658	29,119	32,752	31,299
			実績額	25,751	29,044	27,176	28,579	32,598	-
			執行率	117.9%	95.0%	98.3%	98.1%	99.5%	-
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金②	千円	予算額	5,154	7,505	5,700	5,609	7,155	5,813
			実績額	4,267	5,694	4,401	6,652	6,592	-
			執行率	82.8%	75.9%	77.2%	118.6%	92.1%	-
	その他の補助金等③	千円	予算額	1,879	2,625	2,069	2,153	2,821	2,332
			実績額	1,171	1,993	1,610	1,849	2,381	-
			執行率	62.3%	75.9%	77.8%	85.9%	84.4%	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	7,033	10,130	7,769	7,762	9,976	8,145
			実績額	5,438	7,687	6,011	8,501	8,973	-
			執行率	77.3%	75.9%	77.4%	109.5%	89.9%	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	14,810	20,436	19,889	21,357	22,776	23,154
			実績額	20,313	21,357	21,165	20,078	23,625	-
			執行率	137.2%	104.5%	106.4%	94.0%	103.7%	-



特記事項

○令和7年度は、印刷費用の高騰により事業費が増加しました。
○杉並区がん療養リーフレットの内容の改定がなかったため、令和7年度は発行を見送ったことから、執行率が90％未満となりました。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	574

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	在宅医療地域ケア会議の開催（全体会1回を含む）	15	回	2,392
	在宅医療推進連絡協議会の開催（普及啓発・研修部会1回等を含む）	4	回	353
	在宅医療推進多職種研修の実施（難病研修2回を含む）	4	回	177
	在宅医療推進フォーラムの開催	1	回	506
	その他（　在宅医療相談調整窓口リーフレットの作成等　）			6,779
取組成果	医療・介護の関係者による在宅医療地域ケア会議を15回開催し、意思決定支援やカスタマーハラスメント等について学習し、意見交換を行いました。また、意思決定支援や難病等をテーマとした在宅医療推進多職種研修を4回実施し、ケアマネージャー、看護師、保健師など様々な職種の医療・介護関係者が計133名参加しました。さらに、在宅医療推進フォーラムには210名の参加があり、在宅医療の重要性について区民等へ普及啓発を図ることができました。そのほか、在宅医療相談調整窓口では、区民や医療・介護関係者から279件の相談を受け付け、医療機関との調整や情報提供を行いました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	高齢者人口の増加に伴い、在宅医療のニーズが高まっており、在宅療養者が安心して医療を受けられるように、在宅医療と介護の連携を強化していく必要があります。 在宅医療相談調整窓口の相談件数は、前年度と比べ、区民からの相談件数が増加した一方で、医療・介護関係者からの相談件数は減少しました。これは、区民への周知が進んだことにより、在宅医療に関する相談窓口の認知が広がり、利用が増加したことが一因と考えられます。医療・介護関係者においては、新規事業者等が相談窓口を認知していないため、活用に結び付いていないことも考えられるため、医療・介護の関係者へのさらなる周知活動に取り組みます。 在宅医療地域ケア会議の参加数は、ここ数年と同様一定の水準を維持しており、多職種の参加により日頃の連携につながっています。引き続き医療・介護関係者への周知や各地域の取組事例の共有等を通じて、医療・介護関係者の連携強化を図っていきます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	在宅医療相談調整窓口について、介護サービス事業者の会、地域包括支援センター研修会、ケアマネージャー協議会、在宅医療地域ケア会議全体会などにおいて、医療・介護関係者に周知を行いました。 在宅医療地域ケア会議の全体会を４月に開催し、令和８年度の活動方針等を検討しました。区内７圏域ごとの在宅医療地域ケア会議については、８月から10月、12月から２月頃にそれぞれ１回ずつ開催し、圏域ごとの課題等について多職種の関係者間で議論する予定です。 また、在宅医療推進連絡協議会については、７月から８月にかけて計３回（普及啓発・研修部会及び認知症施策推進部会の各１回を含む。）開催し、学識経験者、医療・介護の関係者が意見交換を行い、現状の把握及び課題の共有を行いました。
事業の方向性・改善策	8月から実施している在宅医療地域ケア会議や多職種研修を通じて、引き続き医療・介護の関係者の顔の見える関係づくりや人材育成を進めていきます。 また、在宅医療の普及啓発を目的とした在宅医療推進フォーラムは、2月にACP（アドバンスド・ケア・プランニング）をテーマにグループワークを交えた形で実施します。在宅医療推進フォーラムを通して、区民が在宅療養や在宅での看取りなどについて考えるきっかけづくりを進めていきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	事業規模に大きな変更はないため、令和９年度は、令和８年度と同規模の予算額となる見込みです。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	多職種研修について、在宅医療地域ケア会議の内容や関心の高いテーマ、参加者からの意見等を参考にしながら、より効果的な取組となるよう次年度に向けて必要に応じた内容の見直し等を行っていきます。